| | | |
|---|---|---|
| | ケアマネジメントの展開(6) | 五 |
| | 看取りに関する事例 | |
| | アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習 | 五 |
| | 研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り | 二 |
| 実習 | ケアマネジメントの基礎技術に関する実習 | |
| ㈱ | 修了評価を実施すること。 | |

第二号中「介護支援専門員証」を「再研修（法第六十九条の七第二項の厚生労働省令で定めるところにより行う研修をいう。）及び介護支援専門員証」に改め、同号の表を次のように改める。

| 区分 | 科目 | 時間数 |
|---|---|---|
| 講義 | 介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント | 三 |
| | ケアマネジメントに係る法令等の理解 | 二 |
| | 地域包括ケアシステム及び社会資源 | 三 |
| | ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の意義 | 三 |
| | 人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理 | 二 |
| 講義及び演習 | 自立支援のためのケアマネジメントの基本 | 六 |
| | 介護支援専門員に求められるマネジメント（チームマネジメント） | 二 |
| | ケアマネジメントの展開(1)<br>基礎理解 | 三 |
| | ケアマネジメントの展開(2)<br>脳血管疾患に関する事例 | 五 |
| | ケアマネジメントの展開(3)<br>認知症に関する事例 | 五 |
| | ケアマネジメントの展開(4)<br>筋骨格系疾患及び廃用症候群に関する事例 | 五 |
| | ケアマネジメントの展開(5)<br>内臓の機能不全（糖尿病、高血圧、脂質異常症、心疾患、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病等）に関する事例 | 五 |
| | ケアマネジメントの展開(6)<br>看取りに関する事例 | 五 |
| | アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習 | 五 |
| ㈱ | 修了評価を実施すること。 | |

第三号の表を次のように改める。

| 区分 | 科目 | 時間数 |
|---|---|---|
| 講義 | 介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状 | 三 |
| | 介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開 | 四 |
| | 対人個別援助技術及び地域援助技術 | 三 |
| | ケアマネジメントの実践における倫理 | 二 |
| | ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実践 | 四 |
| | 個人での学習及び介護支援専門員相互間の学習 | 二 |
| 講義及び演習 | ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定 | 十二 |
| | ケアマネジメントの演習(1)<br>リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例 | 四 |
| | ケアマネジメントの演習(2)<br>看取り等における看護サービスの活用に関する事例 | 四 |
| | ケアマネジメントの演習(3)<br>認知症に関する事例 | 四 |
| | ケアマネジメントの演習(4)<br>入退院時等における医療との連携に関する事例 | 四 |
| | ケアマネジメントの演習(5)<br>家族への支援の視点が必要な事例 | 四 |
| | ケアマネジメントの演習(6)<br>社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例 | 四 |
| | ケアマネジメントの演習(7)<br>状態に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、施設サービス等）の活用に関する事例 | 四 |
| | ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表(1)<br>リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例 | 四 |
| | ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表(2)<br>看取り等における看護サービスの活用に関する事例 | 四 |
| | ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表(3)<br>認知症に関する事例 | 四 |
| | ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表(4)<br>入退院時等における医療との連携に関する事例 | 四 |
| | ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表(5)<br>家族への支援の視点が必要な事例 | 四 |